

デジタル教科書指導案／地理的分野

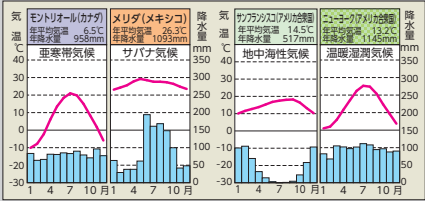
1. 題材 p.96-97 北アメリカ州の自然環境
2. 目標 (1) 北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解することができる。
(2) 北アメリカ州の気候の特色について、緯度や大陸内の位置から考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解している。
思考・判断・表現	・北アメリカ州の気候について、雨温図の読み取りや大陸内の位置から考察している。
主体的に学習に取り組む態度	・北アメリカ州の気候について、地域の人々の生活を踏まえて特色を追究しようとしている。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見通し	0. 「写真で眺める北アメリカ州」を題材にし、「節の問い」への見通しを持つ。	 p.94-95 1～6 写真から、北アメリカ州について知っていることを挙げてみよう。 「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	○ 知っている風景や国名などを挙げさせながら、北アメリカ州への関心を高めさせる。 ○ 植生や人々の服装、暮らしの様子にも着目させる。 ○ 「学習の見通し・振り返りシート」へ記入させ、節の学習の見通しを持たせる。
導入	1. 「乾燥した大地が広がるモニュメントバレー」と「カリブ海に面したビーチリゾート」を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 北アメリカ州の地形や気候について予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.97 4 p.97 5 北アメリカ州の自然環境にはどのような特色があるだろうか。 北アメリカ州の景観写真から、自然環境や人々の暮らしについて予想してみよう。	○ 北アメリカ州の自然景観の写真を見せながら、本時への導入を図る。 ○ 多様な地形や気候がみられることを挙げさせる。 ○ 北アメリカ州の気候や地形について、自由に発表させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：北アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。			

展 開	3. 北アメリカ州の地形の特色を理解する。 (1) 代表的な地形 (2) 緯度 4. 北アメリカ州の気候の多様性を理解し、特色を考察する。 (1) 雨温図 (2) 降水量の特色 (3) ハリケーン	 p.96 1 北アメリカ州の主な地形の名称を確認してみよう。 ニューヨークの緯度を調べ、その緯度は日本ではどのあたりか確認してみよう。  「北アメリカのさまざまな気候」 気候の特色を雨温図と都市の位置から考えてみよう。  地図帳 p.62 ③ 降水量 500mm の線を確認し、アメリカ合衆国の降水量の特色を読み取ってみよう。  「ハリケーンの被害を受けたニューオーリンズ」 ハリケーンについて、発生する時期や地域、原因について調べてみよう。	○ 北アメリカ大陸の位置と主な地形の名称を整理させる。 ◆ カナダやアメリカ合衆国の西部にはロッキー山脈が連なり、中央部から東部は比較的平坦であることや、メキシコは国土の大部分が高原と山地であることに気付かせる。 ◆ ニューヨークは北緯約 40 度で、日本の秋田県や岩手県とほぼ同じであることを理解させる。 ○ 雨温図から気候の特色を読み取らせる。 ◆ 低緯度と高緯度、大陸の東岸と西岸を比較させ、特色をまとめさせる。 ○ 地図帳を確認し、北アメリカ州の気候の分布を確認させる。 ○ 北アメリカ州の降水量について、大陸の東側と西側で異なることを確認する。 ◆ 西経 100 度を境目として、東側は降水量 500mm 以上、西側は降水量 500mm 以下になっていることに気付かせる。 ○ ハリケーンの発生時期と地域、発生の原因について調べさせる。 ◆ カリブ海やメキシコ湾で発生する熱帯低気圧で、夏から春にかけてメキシコ湾に面した地域にやってくることを理解させる。
整 理	5. 本時のまとめをする。 6. 学習課題への振り返りの活動を行う。	アメリカ合衆国の気候の特色を、「西経 100 度」の語句を使って説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ アメリカ合衆国では、西経 100 度を境界として西側は降水量が少ないが、東側は温暖で湿潤な気候の地域が広がっていることなどを説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。